

2023年3月期の事業概況

2023年6月30日
サントリー食品株式会社
広報宣伝部

サントリー食品株式会社（本社：東京、社長：井田純一郎）の2023年3月期（自2022年4月1日～至2023年3月31日）における事業概況は、以下の通りとなりました。

2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		経常利益	
	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	161,583	17.1	44,990	14.8
2022年3月期	137,973	—	39,174	—

【事業の経過及びその成果】

当事業年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続いたものの、経済活動の制限緩和による景気持ち直しの動きがみられました。一方、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、それに伴う原材料・エネルギー価格の高騰、急激な円安の進行や物価の上昇など、景気の先行きにつきましては、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが中核事業を展開する即席麺業界におきましては、各種投入コストの大幅な上昇に伴い、各社が商品価格改定を実施しましたが、物価上昇や実質賃金の減少による消費者の生活防衛意識は高まっており、業界を取り巻く環境は依然として不透明な状況が続いております。

こうした環境の下、当連結会計年度の当社グループの売上高は 1,615 億 83 百万円（前期比 17.1%増）、経常利益は 449 億 90 百万円（前期比 14.8%増）となりました。

【事業の状況】

サンヨー食品(株)は、6月に製品価格の改定を実施するとともに、年間を通じて積極的な施策提案を継続いたしました。

主力の「サッポロ一番」シリーズは夏に人気キャラクターとの大型タイアップキャンペーンを展開、需要期の秋から冬にかけてはメディアや売場を通じて商品固有の調理特性を訴求する各種キャンペーンを実施いたしました。

「カップスター」は秋に全品のリニューアルを実施、人気アイドルなどとのコラボ企画も間断なく展開して、ターゲットユーザーの購買意欲を大いに刺激いたしました。「ご当店」カテゴリでは、「名店の味」を全品リニューアルして安定的に売上を確保、またカップ麺で展開していた「ご当地熱愛麺」においては袋麺も発売して、シリーズを拡充いたしました。

これらの結果、当期の売上高は411億76百万円（前期比0.8%増）となりました。

連結対象会社であるエースコック株式会社、Sanyo Foods Corporation of America 及び Acecook Vietnam Joint Stock Company 及びその他事業の合計売上高は1,204億07百万円（前期比23.9%増）となりました。

中国における持分法適用会社である康師傅控股有限公司の売上は、中国元ベースで前期比6.2%の増加となり、且つ期末為替レートが前期比円安中国元高となったため、円ベースで前期比11.8%増加の1兆4,964億円となりました。

【今後の課題と展望】

国内食料品事業は、少子高齢化・人口減少によるマーケットの縮小傾向、販売チャネルの再編加速などといった中・長期的な課題に加え、うち続く新型コロナウイルス感染症、原料資材価格の高騰などへの対応を喫緊の課題に、先行き不透明な経営環境下に置かれることが予測されます。

当社では、製品の安定供給を念頭に、引き続き食の安全・安心に向けての体制強化、品質の向上、消費者視点に立った商品価値の提案、社内のデジタル化と徹底したコスト意識を維持し、事業活動を堅実に推進してまいります。

海外食料品事業は、中国、東南アジア、北米、サブサハラアフリカにおいて主要ブランド重点商品のシェア向上と収益拡大、新製品開発及び販売によるイノベーション活動に継続して取り組んでまいります。